



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	シンポジウムの趣旨
Author(s)	天野, 哲也; Vasilevski, A.A.
Citation	サハリンにおけるオホーツク文化の形成と変容・消滅 : 日ロ共同シンポジウム, 5
Issue Date	2002-02-28
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73790
Type	other
File Information	urpose.pdf



シンポジウムの趣旨

ロシアサハリン州と北海道にまたがって分布する古代海洋民のオホーツク文化に関する調査・研究は、第二次大戦後は、日ロ（ソ）でほとんどそれぞれの領土内に限ってすすめられてきた。このためにその全体像をとらえることは双方にとって困難であった。とりわけオホーツク文化の形成と消滅の過程は、その主要な舞台がサハリンにあったために、日本の研究者には具体的に論じることが難しかった。

そこでわれわれは、サハリン大学およびサハリン州郷土博物館と共同で、これらの機関に蓄積された豊富な資料を観察・分析し、あわせて現地踏査をおこなうことによって、オホーツク文化の形成と変容さらに消滅についてみとおしを得ることを計画し、実施した。

今回のシンポジウムの目的は、未消化の部分も残るが、いわば第一次に当たるわれわれのこの3年間の調査研究の成果を集約・確認すること、それにより今後にとりくむべき課題を明確にする点にある。

組織委員会代表

天野哲也（北海道大学）

A.A.Vasilevski（Sakhalin State University）